

政策分析と環境教育

竹 濱 朝 美

太陽光発電の普及、再生可能エネルギーの普及政策について、調べています。現在は、太陽光発電の普及政策に関する費用と効果の分析をしています。また、温室効果ガス排出削減に関する環境教育にも関心があります。

1. 専門演習の目標

気候変動対策に関する基本的な知識の習得、再生可能エネルギーの普及に関する海外の政策の比較分析、再生可能エネルギーの役割と温室効果ガス削減対策の手法について、学ぶ。温暖化対策と再生可能エネルギーに関する環境教育の先進事例や市民活動について学ぶ。温室効果ガス削減と再生可能エネルギー普及に関して、費用の推計、削減効果の推計方法について、基本的な内容を学ぶ。できるだけ統計データ、数値データを使って分析する方法、政策の費用や効果の推計方法について学ぶ。

2. 専門演習で扱う課題と内容

バイオマス発電、太陽光発電、風力発電、バイオマス燃料の役割と可能性。再生可能エネルギーの二酸化炭素排出回避効果。海外における再生可能エネルギー政策の比較。再生可能エネルギーを活用した地域活性化対策の事例分析。再生可能エネルギーおよび地球温暖化に関する環境教育。再生可能エネルギーの普及の費用と経済効果の推計。電気自動車の普及に関する支援費用の推計。地球温暖化対策関連技術と産業振興策の分析。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期には、基本文献を読み進める。気候変動に関する IPCC の報告書の概要を理解する。再生可能エネルギーの種類、役割、活用方法、普及政策に関する基本文献を読む。英文の資料を使用する。3回生後期には、各人で、スライド発表を行う。再生可能エネルギーや温室効果ガス削減対策に関する外国比較について、各人でテーマを設定し、発表してもらう。英文資料をつかって発表スライドを作ることを目的にする。4回生前期には、調べたことを報告書にまとめる方法について、学習する。

4. 必要とする知識

英文の資料を使えるようにすること

5. 関連する分野・科目・知識

特になし

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

パソコン、エクセルを使えること。

7. 独自に付加する選考方法

なし

8. 受講生に望むこと

なし